

防災は日ごろの備えから！

9月1日は「防災の日」。大正12年のこの日に発生した「関東大震災」を教訓に、防災を見直すために定められた日です。

地震が発生したとき、被害を最小限におさえるには、一人ひとり慌てずに適切な行動をすることが重要です。また、落ち着いて対応できるように防災に対する備えをしておく必要があります。

いざというときに慌てずに、大切な命や財産を地震から守るため、次の行動を身につけましょう。

1 まず落ちついて

身の安全を

グラツと揺れを感じたら、まず丈夫な机やテーブルな



どの下に身をかくしましょう。座布団などが身近にあれば、頭部を保護しましょう。

2 あわてず冷静に

火災を防ぐ

地震！すばやく火の始末を使用中のガス器具やストーブなどはすばやく火を消しましょう。

火が出たらまず消火を万一出火したら、消火器やバケツなどの消火用具で火を消し止めましょう。大声で隣近所に声をかけ、みんなで協力しあって初期消火に努めましょう。

3 狭い路地、塀ぎわ、崖

などに近寄らない

狭い路地や塀ぎわは、瓦などが落ちてきたり、ブロック塀が倒れてきたりするので危険です。崖や川べりは地盤のゆるみで崩れやすくなっている場合があるので、これらの場所から遠ざかりましょう。



4 避難のテクニック

避難をするときは、必ず徒歩で避難しましょう。また、携帯品は、必要品のみにして、背負うようにしましょう。



5 正しい情報の入手を

テレビ、ラジオ等から正確な情報を把握しましょう。

役場、消防署、警察署等からの情報には、たえず



6 神崎町の避難場所

- 神崎ふれあいプラザ
- 神崎中学校
- 神崎小学校
- 米沢小学校
- 神崎町民野球場
- 四季の丘公園
- わくわく西の城
- きたふれあいセンター
- 各地区の集会施設

NTT災害用伝言ダイヤル171の利用方法

伝言の録音方法

1 7 1

録音の場合 1

伝言の再生方法

1 7 1

再生の場合 2



被災者の電話番号（市外局番から）

操作の説明が流れます。

注意し、不要・不急な電話はかけないようにしましょう。

NTT災害用伝言ダイヤル「171」や携帯電話災害用伝言板サービスを利用しましょう。